

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 6年 2月 29日

事業所名 運動療育スクールjump 防府校

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○		移動が多い活動の際はスタッフが要所要所にいて見守りを徹底している。	活動内容によっては屋外活動にする。
	2	職員の配置数は適切である	○			子どもの特性に応じて個別でも対応できるよう十分な職員数を配置しています。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている		○	室内はバリアフリー環境です。	活動施設が二階で、階段のみになっておりますが、可能な範囲で今後も対策を検討していきます。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○		職員全員でミーティングを行ない日々の振り返りを行なっています。	必要に応じて定期的な目標設定を行います。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○			改善に向けて検討中事項も含め分析し取り組んでいきます。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○		掲示、配布を行ないホームページで公開しています。	
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		○		第三者委員会の設置については、今後体制が整えば検討していきます。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		研修情報を掲示し、誰でも研修できる機会を設けています。	
適切な 支援の 提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	○		保護者からの情報と子どもの様子から個々の課題に応じた計画を作成しています。	
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○		保護者から検査結果などをいただき職員全体で共有し状況を把握しています。	
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	○			
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		職員全員でアイデアを出し合い楽しく身体を動かせるようプログラムを作成しています。	月に月間目標が変わっており、毎週立案者が違うため、新鮮な気持ちで取り組むことができる。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	○			長期休暇には、工作など行ない巧緻性の工場にも努めています。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	○		特性やニーズに合わせた個別指導とコミュニケーションなど社会性を育めるようなサービス計画を作成しています。	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		支援前のミーティングにて確認し合っています。	想定外の起こってもすぐに職員間で連絡が取れるようになっており、変更時にも都度連絡を怠らないようにしています。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○			ノートやデジタルデバイスを使い、出勤日でない職員にも情報が共有できるようにしています。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		様子や言動を細かく記録し、ミーティングにて改善点を話し合っています。	

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 6年 2月 29日

事業所名 運動療育スクールjump 防府校

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
	18 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	○		6ヶ月毎の見直しと、子どもの状況や必要に応じて見直しを行なっています。	
	19 ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っている	○		アセスメントやニーズに合わせて、複数組み合わせ合わせて支援しています。	
関係機関や保護者との連携	20 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○		事前に子どもの状況を職員全員で話し合い、現状や課題を確認して、児童発達管理者が出席しています。	
	21 学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	○			お迎え時に先生から情報をいただいたり、保護者から行事予定表をいただき、適切に調整できるように取り組んでいます。
	22 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている		○	医療的ケアを必要とする利用者は現在在籍していません。	
	23 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	○		相談支援専門員を通じて情報共有をしています。必要に応じて担当者会議を行なっています。	
	24 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	○			求められましたら、情報提供に努め連携を図ります。
	25 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○		会議や研修に参加しています。	
	26 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある		○	現在は交流の場は設けていません。	
	27 (地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	○		子ども発達支援部会や研修に参加しています。	
	28 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○		送迎時など現状や今後の支援について共通理解できる状況に努めています。	
	29 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている		○	外部でのペアレント・トレーニング等の研修の案内をしています。	研修参加等で専門性を高め、適切に助言ができるように努めます。
保護者への説明責任等	30 運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○		契約時に説明をしています。ご質問には都度お応えしています。	
	31 保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○			送迎時など相談を受けた場合、答えられる範囲内で応じています。職員間でも情報共有しています。
	32 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		○		現在父母会などは開催しておりませんが、今後の情勢を鑑みて検討していきます。

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 6年 2月 29日

事業所名 運動療育スクールjump 防府校

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
保護者への説明責任等	33 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	○			迅速に対応し、解決し、職員全員で共有できるようにつとめています。
	34 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○			現在は会報等は特に発行していません。
	35 個人情報に十分注意している	○		ケース記録等の個人情報は鍵付き棚にて管理しています。	
	36 障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○		保護者には、電話やメールなど伝達しやすい方法で連絡を取っています。	
	37 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		○	今年度は地域交流の場は設けていません。	コロナ前までは、地域の餅つきに参加させていただいたり、していました。今年は交流の機会が持てるように検討していきます。
非常時等の対応	38 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	○		各種マニュアルを策定し、事業所内に掲示しています。定期的に社内研修、訓練を実施しています。	
	39 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○		定期的に避難訓練を行っています。訓練は平日に行っています。	
	40 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○		職員に研修と、虐待防止チェックリストを行なっています。	
	41 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	○		身体拘束については、契約時に保護者に説明をしています。	
	42 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○		アレルギー調査をしています。	アレルギーのある子どもは職員間で周知しており、且つおやつ棚にも分かるように明記しています。
43 ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○		ミーティングを実施し、記録共有しています。	適宜見返すことができるように、その時の様子や対応方法についてファイルにまとめています。	